

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2013年2月6日
宮城県荒町児童館

荒町児童館での「ハッピードール」は、久々の開催。“募集をかけたとたん定員になってしまったんですよ”という言葉いただきました。使える材料が増えたせいもあり、参加者の想像力は全開の様相。

作品づくりも自由度が増している感じですが、いろいろな布地を縫い合わせ、なかに綿を詰め、なにになるのかなあ。と

思っていたら、美ら海水族館で見たジンベイザメとのこと。目もつけ、ひれもつけ、雄大な海を動くジンベイザメはできあがってゆきます。

緑の布地の縁を縫い、それをひっくり返す技を使い、綿をつめ、さやえんどうをつくった少年は、その後も独特のセンスで作品を多産。レースやチュール地を使って、ドレスをつくるのは、やはり女子チームです。大胆にも、枕、クッションなどの大物づくりに挑む子も何人も出てきて、途中で綿を買いたしに行くことに……。スタッフが片付けを終えようとしている時刻になっても、必要なものを再度箱から出してもらい仕上げた子など、夢中度100%だったかな。

